

地球環境問題:水資源の利用状況・フロン排出抑制

水資源の利用状況

集計範囲:UBEの国内工場・研究所(13事業所)および生産工場を有する主要な国内連結子会社(10社)。詳細はP10に掲載。

UBEグループにおける水資源の利用状況(2016~2020年度)

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
水資源投入量 ^(注) (百万m ³)	UBE	上水道水	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		地下水	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		工業用水	74	73	69	73	71
		海水	108	115	106	115	108
		小計	182	188	175	188	179
	グループ会社	上水道水	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3
		地下水	1.9	2.0	2.0	2.1	2.1
		工業用水	20	18	20	22	21
		海水	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小計	22	21	22	24	23
合計(UBEグループ)		204	209	198	212	202	
排出水量(百万m ³)	UBE	下水道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		河川・湖沼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		海域	152	158	143	159	148
		小計	152	158	143	159	148
	グループ会社	下水道	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
		河川・湖沼	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1
		海域	2.1	2.2	2.1	2.0	1.9
		小計	4.1	4.3	4.2	4.2	4.1
	合計(UBEグループ)		156	162	147	163	152

(注)水資源投入量は、環境省の「環境報告ガイドライン2018年版」に準拠しています。これは、外部から事業所内に取水した水量を指します。

水域へ排出する水質を管理するため、汚濁物質の監視設備を設置しており、水質汚濁に重大な影響を及ぼす工場の排水は、廃水処理設備を用いて浄化しています。

フロン排出抑制法への対応

地球温暖化やオゾン層破壊を防止するため、フロン冷媒の漏洩抑制を目的としたフロン排出抑制法が2015年4月に施行されました。業務用冷凍冷蔵・空調機器の点検などの法規制を遵守し、さらにフロン類の回収・充填方法の改善や機器運転中の管理強化でフロン漏洩の防止を図っています。

化学物質安全性事前評価

新規化学物質の開発および工場ですべて初めて取り扱う化学物質は、化学物質安全性事前評価を実施しています。UBEグループの2020年度実績は83件です。